

入力技術ポリシー

■原稿の取り扱い

- (1) お預かりした原稿はナンバリングを行い、数量を報告
- (2) 原稿に鉛筆でコーディングを行う場合あり（回答に数値なし、重複番号ミス、仕様変更等）
- (3) 白紙原稿は無効

■事前確認事項

アンケート入力について以下の仕様で進めますが、事前に回答後のアンケートをご覧頂き、単数回答を複数に変更するなど、仕様変更をお知らせください。

- (1) 原稿に沿ったアンケート入力プログラムを作成、矛盾データを排除
- (2) 単数回答で複数答えている場合、通常は入力なし
- (3) 複数回答で3つまで限定だが3つ以上に回答、全て入力
- (4) 該当者であるのに記入せずに次の質問に答えている場合、該当者だと特定できれば入力
- (5) 該当者ではないのに答えている場合、通常は入力なし
- (6) 数値を記入する設問で、「3～6回」と答えている場合は、4.5と中間値を入力
- (7) 自由回答入力：回答者の誤字脱字は修正して入力を行います。

名称や県名については、一般的な名称、正式名称に変換します。

病名：「骨そ」「骨そ症」「骨粗しょうしょう」 ⇒ 「骨粗鬆症」

県名：「神戸」 ⇒ 「兵庫県」

100%完璧な校正は理論上あり得ませんが、できる限りの校正を心がけております。

- (8) 再度の論理チェック、外れ値の報告
- (9) 納品データの最後の列に「入力報告」 必ず確認ください。
- (10) 入力ルールについては、「入力仕様書」としてデータと共に納品

■正誤率について

数値入力：通常、上記の論理チェックを行った後でも0.2%～1%程度のタッチミスが発生すると言われております。[※1参照](#)

当社では、0.04%～0.1%の精度を実現しておりますが、都度サンプリングを行い、より精度を高めています。当社での1回入力時のミス率0.3%未満としています。

■色分け付箋について

付箋サービス：調査票の仕様にそっていない回答は、色分けをした付箋を付けて返却

黄…単数回答なのに複数回答

橙…判断して入力：単位違いを再度計算した結果など

青…回答者が欄外に重要なコメントを書いている場合



判断に迷う外れ値は、データ最後尾「入力報告」

※1：青森大学附属総合研究所紀要 Vol. 15, No. 1, 1-5, March 2014 『社会調査の入力ミスの発生率について』